

平成 24 年 3 月 14 日

報道関係者各位

**南三陸町復興ドキュメンタリー**

**「ガレキとラジオ」2012 年秋公開決定**

**スペシャルサポーターとして役所広司氏が参加**

宮城県南三陸町の災害ラジオ局《FMみなさん》を中心に追いかけたドキュメンタリー映画「ガレキとラジオ」を、2012 年秋に公開いたします。

本作品は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で、町内の 60%以上の世帯が罹災し、8,000 名以上（町の人口の約半数）の方々が避難生活を送ることになった宮城県南三陸町を舞台に、震災後もそこに生きる人々の日常と復興への軌跡を記録するドキュメンタリー映画です。津波で流された防災無線の代わりに震災後に生まれた小さなFMラジオ局を通じて、津波による被害で全てを失い苦しい生活の中にあっても笑顔を絶やさない強さや、淡々と日々を取り戻すたくましさ、希望を胸に未来に向かう人々の姿を追いかけます。

制作にあたっては、趣旨に賛同いただいた俳優・役所広司氏がスペシャルサポーターとして、ナレーションで参加します。

また本作品は、映画を通じた被災地支援を目的に制作され、映画の収益は、作品を広く知っていただき、被災地への継続した支援について理解を深めていただくための活動や、被災した地域の復興に役立てるための寄付などにも利用されます。

映画「ガレキとラジオ」の続報・プロモーションやチャリティなどの詳細は今後、映画特設 web サイト（URL：www.311movie.com）にて随時発表してまいります。どうぞご期待ください。

**スペシャルサポーター**

■ナレーション：役所広司氏

「この記録映画が、日本だけでなく、世界中に笑顔の輪を広げ、東北の復興の力になるよう祈ります。  
この企画に参加できて幸せです。」

役所広司



## 作品概要

- タイトル：「ガレキとラジオ」
  - 出演：南三陸町の住民の皆様
  - 監督：梅村太郎、塚原一成  
撮影監督：乾雅人 / 編集：田嶋直子
  - ナレーション：役所広司
  - 製作：株式会社ワンダーラボラトリー
  - 企画・制作：株式会社博報堂、株式会社博報堂プロダクツ
  - 制作協力：有限会社FOLCOM
  - 後援：観光庁、宮城県、南三陸町
  - 配給：アルゴ・ピクチャーズ
  - 公開：2012年秋より全国にて順次公開予定
- ©映画「ガレキとラジオ」製作委員会

## イントロダクション

2011年5月17日、南三陸町に小さなラジオ局が生まれました。ラジオ局の名は「FMみなさん」。スタジオは避難所になっていた体育館の廊下、ブースはカーテン1枚のその先、スタッフはラジオ制作未経験の南三陸町の住民9人。MCは元塾講師、ディレクターは元ダンプ運転手、元劇団員もいれば、ロックバンドを組んでいる若者も。全員被災者で、全員素人。不慣れた仕事は日々試行錯誤の連続で、秋も深まれば凍える寒さの中でのオンエア。それでも、全員前向き。24時間頑張っている。それは、全員が大事にしているあるひとつの思いがあるから。「一人でも多くの人をラジオを通じて笑顔にしたい!」。この思いを原動力に、南三陸町で復興に向けて頑張る人に次々インタビューを敢行。リスナーの町民に元気をおすそ分けしていく。町全体が再生に向けて一歩ずつ踏み出す中、メンバーの心中に、さらに思いが募る。「もっと、自分たちに出来ることはないか?」。そして、考えついた事とは……。

## 問合せ・配給宣伝

アルゴ・ピクチャーズ（熊谷、長村）TEL03-3584-6237 mail@argopictures.jp

